

大阪府北部地震による近隣大学の状況

地震発生当日、会員校のうち近畿ブロックの事務担当者へ詳細な状況を調べていただくよう依頼し確認した。（物的、人的な被害状況の有無。診療機器や研究用機器等への被害の有無について）

【大阪大学医学部】

平成 30 年 6 月 18 日(月)

ガスの供給が絶たれている。そのため、患者給食は備蓄品に切り替える。今後は、附属病院長会議の協定から、京都大学へ支援を求めていく予定である。

周辺のアクセスは停止している状況である。受診のため今現在、来院している患者の診察は実施するが、予約患者の診察は行わない方向である。救急搬送患者への対応を万全とする。災害対策本部を設置し、その指示で動いている。

国立循環器病センターの小児患者を受け入れることとした。ドクターヘリの設置場所を屋上だけでなく、グラウンドにも設置した。

平成 30 年 6 月 19 日(火)

ガスも復旧しライフラインに異常はない。患者給食も朝食から通常どおり対応している。周辺のアクセスは停止している状況である。外来診療は通常にもどす。手術室 2 室が使用不能であるが、残り 18 室のやり繰りで手術を実施予定である。現時点では、医薬品・医療材料・食料などの物資支援は、必要無し。

平成 30 年 6 月 20 日(水)

外来診療は通常どおり機能している。手術は 1 室、使用不能であるが、19 室で緊急も含め、対応している。国立循環器病センターからの患者は、16 名を受入(13 名入院、3 名転院)、MRI は復旧が困難との情報から、新規の脳卒中患者を受け入れる可能性がある。

本日もライフラインは正常である。現段階で支援の必要は全くない。

平成 30 年 6 月 22 日(金)

通常業務に戻っているとの報告があった。

【大阪医科大学】

平成 30 年 6 月 18 日(月)

物的、人的な被害は無い。ガスの供給は絶たれている。建物によるが、一部に漏水がある。

外来診療は休止しているが、救急外来のみ行っている。患者給食は、災害食で対応している。

平成 30 年 6 月 19 日(火)

ガスの供給は本日現在も絶たれている。また、水道には濁り水や供給状態が一定しない等不安定となっている。しかし、外来患者への診療は、通常どおり行う。病院周辺の物流は、麻痺状態である。

平成 30 年 6 月 20 日(水)

ガスの供給は本日現在も絶たれている。大阪ガスよりガス発生装置の提供があった。これで、患者給食への対応を始める。水道には濁り水に注意が必要であるが、供給は継続されている。雨漏りにより建物のヒビ等の現状が分かってきた。修理可能な箇所 についての改修を行って

いる。外来診療は、通常どおりである。来週早い時期に通常どおりの管理運営を目指している。

平成 30 年 6 月 25 日(月)

通常業務に戻っているとの報告があった。

【大阪市立大学医学部】

平成 30 年 6 月 18 日(月)

物的、人的被害は無い。インフラ等も問題無く正常に機能している。一部のエレベーターが停止しているが、順次回復している。

【関西医科大学】

平成 30 年 6 月 18 日(月)

エレベーターは、停止している。物的、人的被害は無い。外来診療は実施している。災害拠点病院として機能は充分果たせる状況である。但し、現在手術の実施は見合わせている。

【兵庫医科大学】

平成 30 年 6 月 18 日(月)

エレベーターが一部止まってしまったが、診療による影響はない。

【神戸大学医学部】

平成 30 年 6 月 18 日(月)

エレベーターの停止や一部断水があったが、順次回復している。物的、人的被害は、現在のところ確認されていない。

その他、近畿大学医学部、京都大学医学部、京都府立医学部、滋賀医科大学、奈良県立医大、三重大学医学部、福井大学医学部、奈良県立医大、香川大学医学部、愛知医科大学は問題が無かったとの報告であった。